



ひよこだより 12月号

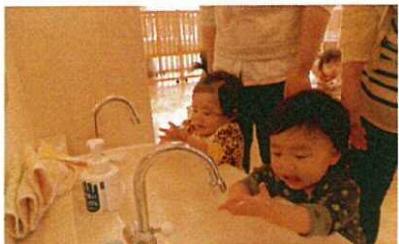


H26.12.10 (水) 発行

ひよこ組には暖かい日差しが入る南向きの大きな窓ガラスがあります。ある日窓ガラスに並んで何かを見て「おっおっ」と指さして保育士に知らせていたので「何が見えるの?」と傍にいくと、地域の方が犬の散歩をしていました。「あっ!ワンワンがいるね」「白いワンワンだね」と言うと隣にいたAくんが「ワンワン」と言って窓ガラスにおでこをくっつけてじっと見ていました。Aくんと保育士の言葉を聞いて、ほかの子どもたちも寄って来て「ワンワン」「おっおっ」と、子どもたちが何やら話しをしながら、姿が見えなくなると「バイバイ」と手を振っていました。「ワンワン行ったね!バイバイしたね、また来るといいね」と言うと、保育士と顔を見合わせて笑ったAくんが愛らしく、思わずギュッと抱きしめて頬ずりしました。日々の生活の中での何気ない子どもの姿や表情が私たちをホッとさせてくれます。慌ただしく過ぎていく師走のこの時期に穏やかな心にさせてくれる子どもとの姿が、保育士たちの嬉しいプレゼントとなっています。

おててゴシゴシ、「きもちいいー！」

「そろそろお食事の時間になったね、ご飯にしようか?」と言うと、子どもたちは手洗い場にトコトコと歩いてきました。「ご飯やおやつの前に、手を洗うんだ」「ここが手を洗う場所なんだ」と、毎日の繰り返しの生活の中でわかってきてているようです。また、介助されながらも少しずつ自分でしようとする自立の姿も見られてきています。手を拭いたペーパーをゴミ箱に捨てるときに「ポイ!」と言いながら捨てる姿がかわいいですよ。



探索あそび大好き!

探索するあそびが今、子どもたちの

中心になっています。登る、ぐぐる、転がる、しゃがむ
立つなど夢中になって環境や物にかかわって遊んで
います。



ひよこ組担任：河内、中村（亜）、桑原



平成26年12月10日(水)

北風がピューピューと吹いてくるようになりました。園庭の桜やハナミズキの葉っぱは、風で落ちてしまい冬支度を始めたようです。寒さから鼻水が出たり、発熱する子どもも増えています。室温の調節、換気、湿度に気を付けながらも、子ども体調の変化に気をつけて健康的に過ごせるようにしていきたいと思います。



スプーンで上手に食べれるようになってきましたよ。

食べる事が大好きな子どもたち。保育士がご飯やおかずをテーブルに置くと、以前は、早く食べたい気持ちから、手づかみで食べている子どもが多かったのですが、保育士がスプーンに手をそえて支えると、今では一人でスプーンを使い、自分で食べれる量をすくって食べる子どもが増えてきました。その姿を見て手首を使う機能が少しづつ育ってきたなと成長を感じます。床にこぼす量も減って来ました。お家の方では如何ですか？

お話し楽しいよ。

自分の気持ちや感動を保育士や友だちに以前はしぐさや、指さしで伝えていましたが今では、「先生、〇〇ちゃんがレゴブロックとった」と怒りを話してくれる子どももいますが「先生ズボン履けたよ」と満足した気持ちや喜びを二語文や三語文で話にくる子どもが増えてきました。登園してきた友だちに近寄って行き、「せりちゃん、おはよう」「おはよう」と、自然に挨拶も出来るようになってきました。又、「昨日ね、ママがねプリキュア買ってくれたんだよ」と経験した事を話しかけてくる子どももいて成長を感じます。友だちと話し合う喜びが表情にあふれて思わず私達もニコッとしてしまいます。すみれ組の保育士としてその育ちを支えていきたいなと思います。



生活発表会に向けて

絵本「でてこいでてこい」が大好きな子ども達。「でてこいでてこい」の絵本の中からエルやウサギが出てくると、「ゲコゲコ」と鳴きまねをしたり、ピョンピョンとジャンプをしたり模倣を楽しむようになりました。又、「こぶたぬきつねこ」や「ドドの歌」等子ども達が好きな曲を鈴やマラカスを使って歌ういつの間にか笑顔になっています。発表会ではそんな姿を見て頂きたいなと思っています。



一歳児担任 福岡・今丸・草場・山田・崎野



平成26年12月10日(水) 発行

今年も残り一ヶ月となりました。短く感じた秋が過ぎ去って、冬がやってきました。北国からの積雪の便りなどを聞くと、それだけで震え上がってしまいます。それでも子どもたちはさすが「風の子」。園庭に出ると元気に遊んだり走ったりしています。

パン屋さんだいすき

絵本「からすのパンやさん」を読むと、普通のパンだけでなく様々な形のパンが食べたくなったようで、保育士に「ウサギパン作って」「バナナパンが食べたい」とリクエストしてきた子どもたち。リクエストに応えていろいろなパンを作ると、さっそくトンクでつまみお盆の上に乗せていました。パン屋さんごっこが好きな子どもたちは、パン屋さんが開店すると「今日はママとパパと一緒に食べるの」「〇〇ちゃんと一緒に食べる」と言いながらパンを買いに来るので、あっという間に売り切れてしまいます。



雪だ！雪だ！

ある日のことです。保育室で遊んでいる途中で雪が降り始めたことに気付いたKくんが「外に行きたい」とつぶやいたので、「よし！行こう！」と少しの時間だけ行くことにしました。いつの間にか上着を着てドアの前に立っている子どもたちに、思わず笑みを浮かべてしまいました。園庭に出ると、寒いと言う子どもは一人もおらず、「雪だー！」と言いながら走り回っていました。頭の上や上着に雪がつくと触らずにじっくり見る子どもや、「ゆき」の歌を歌う子どもがいました。部屋に戻る途中、白いゴミを見て「雪が落ちてる」と言ったり、昼食のスペaghettiにかかっていたチーズを見て「雪みたい」と言ったり、なんでも雪に見えてしまうほど嬉しかったようです。

回るお寿司屋さんですよ

カラーボードで遊んでいたある日のこと。ドーナツのような丸の形のカラーボードの上に、コップやお皿、食べ物を置いているSちゃんとRちゃん。置き終えると丸いカラーボードをゆっくり回しはじめました。「回るお寿司だよー」「好きなもの取つていいよ」と言うと、近くにいたお友だちも集まり、回転寿司屋さんができていました。カラーボードの丸の部分を使って回転寿司を作ってしまう子どもの発想に驚かされました。



第9号



平成26年12月10日(水)

まちに待った12月

寒い日が続き、子ども達からの口からも、「寒いね」「早くサンタクロース来ないかな」など寒くなってきた冬の季節を楽しんでいる姿、また、外に出る時には、水たまりに、氷が張っていないか、観察する様子もみられます。

「フレーメンの音楽隊」

「フレーメンの音楽隊」の絵本を読んだときに、何度か読むにつれて、「ここで口バがでてきてね」や「先生ここは、こうするんよね」と動物のまねをしたりなど少しづつ絵本への興味が出てきました。色々な動物が出てきて、繰り返しの言葉が多いので、子ども達も楽しみながら話の内容になじんでいるようです。



千歳飴の袋をつくりました

障子紙を使った、色染めをして、「なんだこれすごい」や「これどうやってつくるのやってみたい」など、興味をしめしました。

実際に、どんな色になるか、障子紙をつけて混ぜて、絞ってできた障子紙みて「きれいな色」と話し合っていました。

色染め遊びでできた、千歳飴袋を嬉しそうにもってかえっている姿は、楽しそうでした。



3歳児担任：唐木 俊一・田中 佑奈



ひまわりだより

平成26年 12月10日(水)

3期の保育目標でもあります『感謝と祈り』をテーマに生活発表会に向かっています。

4歳児クラスでは、子ども達の好きな絵本の中から『こびとのくつや』を選びクラスみんなで劇遊びにしました。

役になって「こんなセリフはどうかな?」「こんなんやつたらどう?」と模索しながら作り上げました。

劇ごっこをしている時のことです。自分のセリフの番になってしまって覚えていなかったのか、なかなかセリフが出てこない子どもに他の友だちが代わりに台詞を言い、自然に助けようとすることができる子ども達の優しさと共に、自分のセリフだけでなく友だちのセリフまで覚えている4歳児です。

みんなで協力をして作り上げた生活発表会をお家の方々に見て頂けることを楽しみにしている子ども達です。

～紹介～

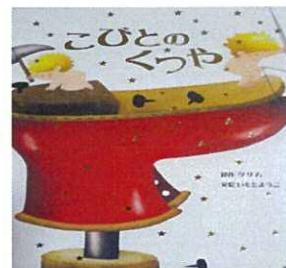
『こびとのくつや』作者いもと ようこさん 世界の名作の絵本です。

グリムの心あたたまるお話です。みなさん物語をご存知ですか?

～あらすじ～

正直者の靴屋さん。でもだんだん貧しくなりついに一足分の靴の皮だけになってしましました。ところが翌朝、不思議なことに素敵なお靴ができていました。すぐに、売れていきます。同じことが続いたある夜、靴屋さんが工房をのぞいてみると、こびと達があらわれて……。

『こびとのくつや』



☆ サンタさん待ってるよ ☆

保育士が作ったクリスマスの靴下に一人ひとり飾りつけをしています。

いろいろなデザインの靴下が出来上がってきています。

靴下の中にサンタクロース宛の手紙を書き、靴下に入れようと話しています。

サンタクロースにどんな手紙を書くのか楽しみにしている私です。





「みさきの子馬がしたい！！」

『椋 鳩十さん』が書いた本に“みさきの子馬”という話があります。子どもたちはこの話が大好きです。

このお話には、馬の親子とのら犬とお百姓さんが出てきます。暴れん坊の子馬ジェットが岩山に一頭で来てしまい、のら犬に襲われます。助けに来たお母さん馬は子馬を必死で守ろうとします。しかし、けがをした子馬の傍を離れようとせず、次第に弱っていきます。のら犬が再び、襲いかかろうとしたとき、お百姓さんが馬の親子を助けるというお話です。

みんなで子馬になったり、お母さん馬になったり、のら犬になったりして遊びました。水を飲んだり、走ったり、眠ったり、吠えたり…。馬がどんな格好で水を飲むか、眠るかなど子どもたちなりに表現して遊び、「ねえ、今日もみさきの子馬しよう。」と、朝登園すると子どもたちが言ってきました。回を重ねていくうちに私がナレーター役になり、子どもたちは好きな役になって遊びました。子馬のジェットが5頭のときもありました。

その内、自分がなりたい役になってみて、みんなで適役か決めました。私はどうなるかなという不安や、納得しない子もいるかもしれないな、と思ったのですが、やってみると「〇〇ちゃんの馬、えさの食べ方が上手だった！！」「〇〇くんの吠え方が本当の、のら犬みたいだった。」という、子どもたちの声が聞かれ、トントン拍子に役が決まっていきました。「こんなとき、ジェットはどんな気持ちだったと思う？」「みんなは怒ってるときどんな顔してる？」など子どもたち同士で話し合いながら、セリフや動きを大事にして作り上げました。生活発表会では、子どもたちの手作りの懸命な姿がみなさまの心に届けられますようにと思います。



サンタさん来るかな♪

たんぽぽ組の部屋や廊下に飾っているクリスマスツリーやリースは、もうご覧になりましたか？折り方を教えていただきながら、子どもたちが作りました。出来上がったリースを見て、喜んでいたみんな。「今年もサンタさん来るかなあ。」と話していました。



今年も残りわずかとなりました。早いですね。4月から子どもたちと過ごしてきて、たんぽぽ組の子どもたちは、やさしくて思いやりのある素敵な子どもたちに育ちました。こんな子どもたちと過ごすことができる一日、一日を大事に過ごしていきたいと思っています。

保護者の方々のご協力には感謝しています。ありがとうございました。

来年もどうぞ、よろしくお願ひいたします。

5歳児

藤田 寛子